

労使協議の 不利益に対して抗議！ 事前の了解もなしに

他労組よりも1日遅れの労使協議発覚！

名古屋地本は、10月30日、「名古屋駅改札の要員体制について」の協議を会社と行った。このとき名古屋地本から会社に対して、協議の日程について確認したところ、他労組が1日早く協議をしていることが発覚した。

要員体制の説明等重要な協議は、全組合が同日に一斉に行うことが基本である。そうでないと遅れて説明を受ける組合に不利益が生じるからである。スケジュール上どうしても遅れるときは、最低幹事間で確認することが常識である。しかし、東海鉄事は幹事間で確認することもなく、勝手に1日遅れで労使協議を開催したのである。このことによって、名古屋地本は大きな不利益を被った。

本部はこの不利益に対して、10月30日本社に抗議を行った。11月2日会社側幹事より「説明内容のオープンは統一している。1日遅れてもそれは同時期である。組合の不利益にはならない」と言い訳にもならない説明があった。本部は、会社の都合の良い認識と今後このような不当な扱いをしないよう、改めて強く抗議した。

幹事間の主なやりとりは以下の通りです。

会社：調査したところ名古屋の件は事実である。

組合：事前に幹事間での確認はあったのか。

会社：確認はないようだ。

組合：本社として注意はしたのか。

会社：貴側は不利益というが、次の日に開催されているので同時期であり、説明のオープンの時期も統一されているので、不利益はない。

組合：1日遅れれば議論も遅れる。明らかに不利益だ。その認識は誤りである。同じ日に行うことが公平に決まっている。それが同時期だ。1日違えば同時期とはいわない。

会社：参加される方のスケジュールの都合とかで、同じ日にできないこともある。

組合：そういう時は幹事間で説明し確認すべきではないか。何も言わずに会社の都合で1日遅らせて不利益ではないなんて、全く不誠実だ。

会社：組合の言うことも分かるが、会社は同時期であるという認識である。

組合：議論が1日遅れれば相当な不利益だ。改めて抗議する。二度とこのような不利益な扱いをしないよう、重ねて抗議する。

以 上